



やさし  
ちよう  
八頭町

# 議会だより

第77号

鳥取県八頭町議会  
令和6年5月発行

## デジタルの力で買い物支援



隼地区まちづくり委員会 (隼Lab.)

### 注目の記事

- |                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| ■ 令和6年度予算 …………… 2～3 | ■ 議会報告会・意見交換会 …… 12～13 |
| ■ 3月定例会 …………… 4～9   | ■ シリーズ 議会知ってプラス …… 14  |
| ■ 委員会報告 …………… 11    | ■ 一般質問ダイジェスト …… 15     |

右のQRコードから「議会だより」が見られます。



3月定例会を6日から21日までの16日間開催しました。人事案件4件、請負契約の変更1件、条例の一部改正、補正予算、令和6年度の当初予算等を含む52議案が提案され、原案どおり可決し陳情2件は採択しました。請願1件は採択、1件を一部採択としました。また追加議案として、議員発議5件が可決されました。



## 子どもファースト

**保育所運営費 3億4,785万円**

- ・3歳児以上の完全給食を実施できるように体制を整えます。



船岡保育所



**こども広場人工芝改修工事 1,028万円**

- ・郡家ドーム横の広場の人工芝を改修します。

**子育て支援センター管理費 272万円**

- ・人工芝と野外ベンチを設置します。



**出生祝い金 500万円**

- ・出生祝い金が3万円支給から5万円へ増額します。

**特定不妊治療（町単独分） 120万円**

- ・保険適用されるものでも条件に合えば助成します。

## 移住定住



移住定住センター（安部駅前）

**住宅取得支援事業補助金 900万円**

- ・町内者10万円、町外者20万円、子育て世帯上乗せ10万円補助します。

**耐震改修等事業費 1,186万円**

- ・耐震性調査、改修される個人宅に補助します。

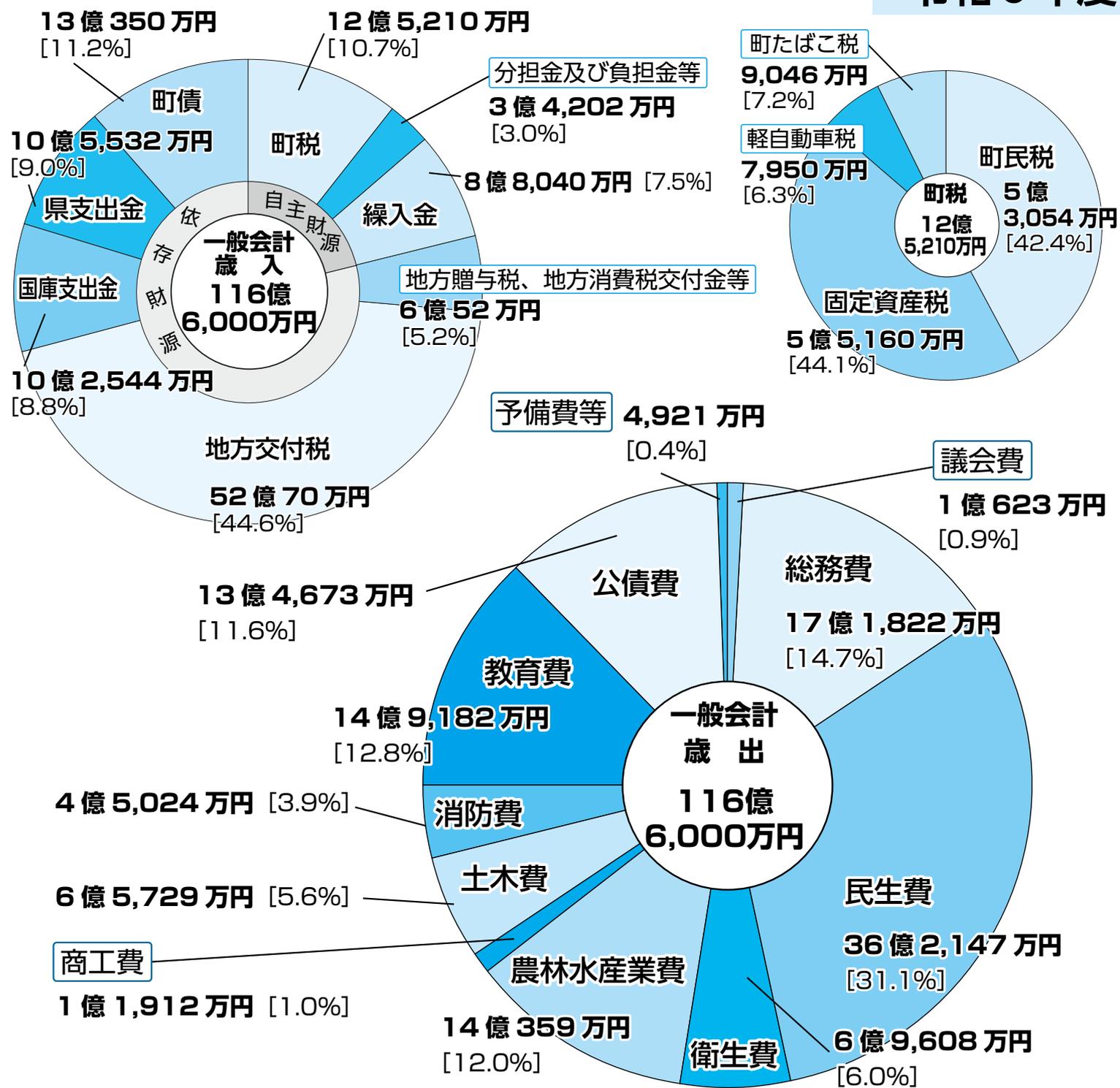
**八頭町産木材利用  
促進事業費補助金**

**200万円**

- ・八頭町産木材を利用する住宅等建設に補助します。

# 人口減少に歯止めを!!

令和6年度



特別会計	●国民健康保険	18億6,100万円	●財産区 (上私都・市場・覚王寺・上津黒・篠波・大江)	3,370万円
	●介護保険	23億3,100万円	●後期高齢者医療	2億7,180万円
	●宅地造成	300万円	●墓地会計	90万円
事業会計	●簡易水道事業会計	2億8,200万円	●下水道事業会計	13億3,500万円

# 令和6年3月定例会

## 主な議案

### ◇議案第2、3、4号（同意）

#### 人権擁護委員の推薦（敬称略）

湯浅宗生、宮田玲子、上島和彦

### ◇議案第5号（同意）

#### 教育委員会委員の任命（敬称略）

小林 博

### ◇議案第7号（可決）

#### 八頭町過疎地域持続的発展計画の変更

「八頭町防災行政無線の操作卓の更新」、「東部広域の消防関連施設及び高機能消防指令センターの更新」等を事業に追加し、計画を変更するもの

### ◇議案第13号（可決）

#### 八頭町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

令和6年2月7日付で八頭町特別職等審議会より答申のあった内容について、答申内容を尊重した報酬の額とするため、議会議員報酬額につ

いて所要の改正を行うもの  
月額報酬

議長【変更前】 31万3千円

【変更後】 32万9千円

副議長【変更前】 23万3千円

【変更後】 25万2千円

委員長【変更前】 22万5千円

【変更後】 24万4千円

議員【変更前】 21万7千円

【変更後】 23万7千円

### 反対討論

森 亜紀子 議員

議会が報酬審議会の調査を依頼したのであれば、議会が発議するのが本来のありかたと考える。議会報告会で各種団体に説明をしたが、広く町民に説明や納得していただけることが必要だと考え反対する。

### 賛成討論

前田 幸己 議員

議会のありかたは議会改革調査推進特別委員会で議論しているが、報酬については報酬審議会が審議し答申されたものであり、それが適当と考え賛成する。

### 反対討論

小原 徹也 議員

令和2年に報酬審議会が出した額は6千円アップで、理由は若い人になり手不足。今回、改選で出てきた若い方は現状維持を主張した。話の流れが違うと思う。また、経済は上

向いているとは思わないので反対する。

### 賛成討論

川西 聡 議員

国会・県議会・市議会等の議員の不祥事は、議員の存在自体が住民の非難のそしりを免れ得ないが本町議会は一般質問の実施、議会運営、議会広報、DX等で頑張っている。15年間据え置きなので、賛成する。

### 賛成討論

奥田 のぶよ 議員

議論や行程を踏んでの今回の上程となる。悩んで議論し、まとめ上げて報告した結果の答申を深く受け止めて今回の条例改正となった。今後は議員もさらに研鑽を深め、議会改革を推進したい。よって賛成する。



本会議場

### ◇議案第14号（可決）

#### 八頭町特別職の職員で非常勤のもの の報酬及び費用弁償に関する条例の 一部改正

八頭町特別職報酬等審議会より答申のあった内容について、答申内容を尊重した報酬額とするため、監査委員報酬額について所要の改正を行うもの。さらに八頭町情報公開審査会並びに個人情報保護審査会については、鳥取県へ事務委託することに伴い、委員報酬が不要となることから本条例の一部改正を行うもの

### 月額報酬

代表監査委員【変更前】 4万円

【変更後】 4万8千円

### ◇議案第17号（可決）

#### 八頭町会計任用職員の給与及び費用 弁償に関する条例の一部改正

地方自治法の一部改正に伴い、会計年度任用職員に対する勤勉手当の支給が可能となり、会計年度任用職員への勤勉手当の支給を可能にするため所要の改正を行うもの

### ◇議案第18号（可決）

#### 八頭町職員の育児休業等に関する条 例の一部改正

地方自治法の一部改正に伴い、会計年度任用職員に対する勤勉手当の支給が可能となり、育児休業中の会計年度任用職員についても、一定の要件を満たす場合は勤勉手当の支給

を可能とするよう所要の改正を行うもの

◇議案第19号（可決）

八頭町公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例の一部改正

現在、指定管理施設にかかる事業報告書の提出期限は、毎年度終了後30日以内と定めているが、指定管理者の多くが3月を決算月とし、5月から6月にかけて総会等をしていることから、事業決算事務を考慮した事業報告書の提出時期とするため、所要の改正を行うもの

◇議案第20号（可決）

八頭町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正

行政手続きで特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、マイナンバーの利用、及び情報連携に係る見直しや同法に規定する個人番号の利用範囲を定める別表の廃止等の規定整理に対応するため、所要の改正を行うもの

◇議案第23号（可決）  
八頭町放課後児童クラブ施設条例の一部改正

現在、2箇所で開催している船岡児童クラブについて、4月から新施設で運営できることから所要の改正を行うもの



船岡児童クラブ

◇議案第24号（可決）  
八頭町営住宅条例の一部改正

町営住宅の入居に際しては、町内在住の個人の連帯保証人2人をたてることとしていたが、鳥取県居住支援協議会からの要望を受け、町内在住の規定を廃止し、連帯保証人を2人から1人に変更すること、また民間の家賃債務業者と家賃に関する保証委託契約を結んだ者については、個人の保証人を免除できることなどの入居条件を緩和するため所要の改正を行うもの



町営住宅（國中）

◇議案第40号（可決）

令和6年度八頭町一般会計予算

116億6,000万円を計上。

前年度比較は率で0.3%の減。

（主な歳出）

旧八東小学校除却事業費

2億3,524万円



旧八東小学校

郡家東小学校改修事業費

5億429万円



改修中の郡家東小学校

ふるさと納税促進事業費

1億2,633万円

大御門体育センター管理費

3,551万円



大御門体育センター

◇発議第1号（可決）

八頭町議会会議規則の一部改正

- ① 一般質問の取扱いを「八頭町議会の運営に関する基準」で定める。
  - ② 会議等を公用情報通信機器によるオンラインでできることとする。
  - ③ 八頭町議会定例会一般質問を公用情報機器によるオンラインでできることとする。
- 以上の目的で規則の一部改正をするもの

◇発議第2号（可決）

八頭町議会委員会条例の一部改正

会議等を公用情報機器によるオンラインで出来ることとする。

以上の目的で条例の一部改正をするもの

◇発議第3号（可決）

八頭町議会の個人情報保護に関する条例の一部改正

現在、本条例中にある審査請求について、「八頭町情報公開条例」に基づく「八頭町情報公開審査会」へ諮問することとしているものを、鳥取県へ事務委託することに伴い、関連する条文の一部改正をするもの

◇発議第4号（可決）

「子どものために保育士配置基準の引き上げと、労働条件改善による保育士の増員とさらなる賃金上げを求める意見書」の提出

現在の保育士配置基準は不十分であるため、増員が急務となっている。以下の諸点を国に求める意見書を提出するもの

- ① 配置基準の改善を速やかに実施すること。
- ② 配置基準の改善は基準の改定で実施すること。
- ③ 国際的な基準を踏まえ、更なる配置基準の引き上げに着手すること。
- ④ 保育士の賃金引上げなどの労働条件改善のために必要な措置をとること。

◇発議第5号（可決）

「食料自給率向上を政府の法的義務とすることを求める意見書」の提出

食料輸入がストップしても、国民を飢えさせないこと、安定的に食料を確保することは国の基本的な責務であり食料自給率目標を定める基本計画を国会承認制とし、政府の法的義務とする必要があることから政府に要望する。

◇請願第1号（一部採択）

本町の医療環境の再整備を求める請願書

【請願者】 稲荷区長ほか13人

【請願紹介議員】 山根張太郎

【請願事項】

- ① 「公設民営」の診療所を開設する。
- ② 夜間、休日等の対応可能な診療所とする。
- ③ 八頭町内外の病院等診療機関への通院交通費の補助制度を新設する。

請願審査を付託された産業福祉常任委員会、栄田秀之委員長の審査結果の報告＝一部採択といたしたい。

請願項目1、採択 理由は請願の趣旨を認めた。

請願項目2、不採択 理由は既に東部広域で対応している。

請願項目3、不採択 理由は町で検討しているが運転士不足等で今以上の運行が困難である。

【反対討論】 小原 徹也 議員

「公設民営」の開設に対し町長は民業圧迫に繋がるので反対だと発言している。従来の行政の意向に沿った結論の出し方に逆行する。請願第2号での審査では議長が「あり得ない」と発言している。項目1は反対だ。

賛成討論 奥田のぶよ 議員

これからの10年先を見据えた八頭町の医療体制を考えたら、移動医療、通信での医療など行政の力が要だ。さまざまなことを考えていただき、早急に対応していただきたい。項目1に賛成する。

【反対討論】 森 亜紀子 議員

医療の充実を求めて町村会は県に要望する重要事項の一つとして、県は鳥取大学との連携や医師の招聘など医療支援も検討している。公設民営の医療機関という箱ものではなく、医療確保のためには医師の確保が必要だ。

【賛成討論】 矢部 啓祐 議員

本町議会は議案、請願、陳情等を委員会に付託し委員会が意見を交わして議論を行い審議結果を出す「委員会制度」をとっている。委員会の出した結論を尊重して、項目1に賛成する。

【賛成討論】 川西 聡 議員

本町の医療整備が不十分なので、公設民営であれ何であれ、どうか検討して自分たちの医療を確保してほしいというのが住民の願意である。採択すれば行政には報告の義務が生じる。よって項目1には賛成する。

**賛成討論** 岡嶋 正広 議員

請願事項1について、公設民営にも様々な形態がある。しかし請願書では休院した施設の利用等を特定しているのだからかとは思いますが、町民からの請願であり本町の医療機関の現状から見て賛成する。

**採決**

請願項目1、賛成多数で採択  
請願項目2、賛成少数で不採択  
請願項目3、賛成少数で不採択  
以上により一部採択と決定

◇請願2号（採択）

町に対し船岡地域に買い物施設を設置していただくことを求める請願

【請願者】 坂町区長ほか4人

【請願紹介議員】

岡嶋正広、中村美鈴

【請願事項】 トスク船岡店に替わる施設として、船岡地域の交通の便が優れた場所に買い物施設を設置していただきますよう議会として町行政にお願いをしたい。

請願審査を付託された総務教育常任委員会、川西美恵子委員長の審査結果の報告に不採択といたしたい。

理由は買い物施設の場合、施設規模、運営方法等が不明なため。

**賛成討論**

岡嶋 正広 議員

民間活力により買い物施設が設置されて営業できる団体がいるならば、この様な状況にはならない。町の周辺部に位置する船岡地域では公の支援が必要だ。よって本請願に賛成する。

**賛成討論** 森 亜紀子 議員

買い物支援については過去に一般質問をしてきた。この請願には公設民営は書かれておらず、様々な検討ができるのではないか。現在の買い物支援の検証、施設設置も視野に入れば、地元の必要性があると考え賛成する。

**賛成討論** 小原 徹也 議員

船岡トスク閉店の後、地元の民間の業者が動いて町長も「何とかしなければ」と努力した経緯がある。地域の区長の方々の請願であるが、内容に矛盾が生じていると考える。しかし、地元住民の要望であり賛成する。

**反対討論** 矢部 啓祐 議員

先程、委員会の審議の結果は尊重するべきであると発言したが、議員各位が日々見識を広め、住民の声も聞いて出された委員会の結論であり、委員会の決定を尊重する。

**賛成討論** 川西 聡 議員

この請願審査は意見が多く分かれたので継続が正しい。しかし、採択か不採択を諮るのであれば住民からの請願でもあり、採択だ。それこそ不採択の理由の内容を町に検討して貰えば良いのではないかと考える。

**反対討論** 川西 美恵子 議員

紹介議員の2人の説明に食い違いがある。施設内容・場所・運営形態が不明であり判断できないという意見が多かった。採択した場合、総務教育常任委員会として政治的・道義的な責任を負えないと判断し反対する。

**賛成討論** 中村 美鈴 議員

本町は、3町が合併して以来、約20年になる。トスクが閉店となり、その為町は火が消えたようである。誰一人取り残さない観点から賛成だ。

**採決**

賛成多数により採択と決定

令和6年  
第1回臨時会

1月31日

◇議案第1号（可決）

令和5年度八頭町一般会計補正予算（第9号）

一般会計の歳入・歳出予算総額に1億1,630万6千円を減額し、歳入・歳出それぞれ144億2,814万5千円とするもの  
（主な歳出）

- 低所得者支援・定額減税補足給付金事業 4,450万円
- 道路改良事業 3,750万円
- 公共土木施設災害復旧費 2,450万円
- 農地農業用施設災害復旧費 △2億310万円



\*議会用語コーナー  
請願とは

国民をはじめ、広く人々が国または地方公共団体に対して、それらが所管する事項に関し一定の措置を希望し申し出ることをいいます。

請願は所定の形式、手続きで提出されたものである限り議長は受理を拒むことはできません。請願者は議長あてに必ず議員の紹介により請願書を提出しなければなりません。そのことが請願と陳情の大きな違いです。請願の紹介議員は請願の内容に賛同するものでなければいけません。

# 議案等議決結果

## (第1回臨時会・第2回定例会)

賛成「○」、反対「×」で記載。議案の採決は、尾島議長を除く13人で行う。

議案等番号	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	結果
	件名	森 亜紀子	山 根張太郎	中 村美鈴	前 田幸巳	矢 部啓祐	灘 口茂郎	岡 嶋正広	栄 田秀之	川 西聡	小 原徹也	川 西美恵子	緒 方陽紀	奥 田のぶよ	

### 第1回臨時会

1	令和5年度八頭町一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
---	-----------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

### 第2回定例会

2	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること(その1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
3	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること(その2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
4	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること(その3)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
5	教育委員会委員の任命につき同意を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
6	八頭町公共下水道郡家浄化センター曝気機更新工事委託に関する協定の一部を変更する協定締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
7	八頭町過疎地域持続的発展計画の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
8	八頭町と鳥取県の間における情報公開条例及び議会個人情報保護条例に基づく合議制の機関に係る事務の委託に関する規約を定める協議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
9	町有財産(建物)の処分(上野地区会館)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
10	財産の貸付(芸術文化交流プラザあーとふる八頭)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
11	字の区域の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
12	町道の路線認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
13	八頭町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	可決
14	八頭町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
15	八頭町監査委員条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
16	八頭町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
17	八頭町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
18	八頭町職員の育児休業等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
19	八頭町公の施設の指定管理者の指定手続き等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
20	八頭町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
21	八頭町情報公開条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
22	八頭町集会所条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
23	八頭町放課後児童クラブ施設条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
24	八頭町営住宅条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
25	八頭町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
26	八頭町介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議案等番号	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	結果
	件名	森 亜紀子	山 根張太郎	中 村美鈴	前 田幸己	矢 部啓祐	灘 口茂郎	岡 嶋正広	栄 田秀之	川 西 聡	小 原徹也	川 西美恵子	緒 方陽紀	奥 田のぶよ	
27	八頭町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
28	八頭町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
29	八頭町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
30	八頭町指定委託介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
31	令和5年度八頭町一般会計補正予算(第10号)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
32	令和5年度八頭町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
33	令和5年度八頭町簡易水道特別会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
34	令和5年度八頭町公共下水特別会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
35	令和5年度八頭町農業集落排水特別会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
36	令和5年度八頭町介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
37	令和5年度八頭町宅地造成特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
38	令和5年度八頭町墓地特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
39	令和5年度八頭町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
40	令和6年度八頭町一般会計予算	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
41	令和6年度八頭町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
42	令和6年度八頭町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
43	令和6年度八頭町宅地造成特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
44	令和6年度八頭町墓地特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
45	令和6年度八頭町後期高齢者特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
46	令和6年度八頭町上私都財産区特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
47	令和6年度八頭町市場、覚王寺財産区地区別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
48	令和6年度八頭町上津黒、下津黒財産区特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
49	令和6年度八頭町篠波財産区特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
50	令和6年度八頭町大江財産区特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
51	令和6年度八頭町簡易水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
52	令和6年度八頭町下水道等事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
53	令和5年度八頭町一般会計補正予算(第11号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議1号	八頭町議会会議規則の一部改正	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議2号	八頭町議会委員会条例の一部改正	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議3号	八頭町議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議4号	「子どものために保育士配置基準の引き上げと、労働条件改善による保育士の増員と更なる賃金引き上げを求める意見書」の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議5号	食料自給率向上を政府の法的義務とすることを求める陳情書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

## 令和5年度（1月～3月） 議会等の出欠日数一覧

### 【臨時会・定例会・研修会】

議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
会議名		森 亜紀子	山根 張太郎	中村 美鈴	前田 幸己	矢部 啓祐	灘口 茂郎	岡嶋 正広	栄田 秀之	川西 聡	小原 徹也	川西 美恵子	緒方 陽紀	奥田 のぶよ	尾島 勲
第1回臨時会（1/31）	出	全 員 出 席													
	欠														
八頭町議会議員研修（2/9）	出	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1
	欠								1						
第2回定例会（3/6～21） ※本会議5日間	出	全 員 出 席													
	欠														

### 【議会運営委員会・常任委員会・特別委員会、全員協議会】

議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
委員会名		森 亜紀子	山根 張太郎	中村 美鈴	前田 幸己	矢部 啓祐	灘口 茂郎	岡嶋 正広	栄田 秀之	川西 聡	小原 徹也	川西 美恵子	緒方 陽紀	奥田 のぶよ	尾島 勲
議会運営委員会（5回）	出	/	5	/	5	/	/	/	5	5	/	5	5	/	/
	欠	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
総務教育常任委員会（4回）	出	4	4	/	/	/	4	/	/	/	3	4	4	/	4
	欠	/	/	/	/	/	/	/	/	1	/	/	/	/	/
産業福祉常任委員会（7回）	出	/	/	7	7	7	/	7	7	7	/	/	/	7	/
	欠	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
議会広報常任委員会（5回）	出	5	/	/	5	5	5	/	/	5	/	/	5	5	/
	欠	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
議会改革推進調査特別委員会（7回）	出	7	7	7	7	7	7	7	7	7	0	7	7	7	/
	欠	/	/	/	/	/	/	/	/	/	7	/	/	/	/
公共施設等調査特別委員会（2回）	出	2	2	2	2	2	2	2	2	2	0	2	2	2	/
	欠	/	/	/	/	/	/	/	/	/	2	/	/	/	/
予算・決算に関する調査特別委員会（4回）	出	4	4	4	4	4	4	4	4	4	2	4	3	4	/
	欠	/	/	/	/	/	/	/	/	/	2	/	1	/	/
全員協議会（9回）	出	9	9	9	9	9	9	9	8	9	5	9	9	9	9
	欠	/	/	/	/	/	/	/	1	/	4	/	/	/	/

右のQRコードから「ホームページの出欠表」がご覧いただけます。



### お詫びと訂正

前号の八頭町議会だより第76号の中に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

※26ページ中村美鈴議員の一般質問の写真が

ヤングケアラーの相談窓口（保健課） → ヤングケアラーの相談窓口（福祉課）

## \*\*\*\*\* 議会改革推進調査特別委員会報告 \*\*\*\*\*

### ◎八頭町議会業務継続計画（議会BCP）を策定しました

大規模災害や感染症等の蔓延などの非常時においても、二元代表制の趣旨のもと、議決権、町民代表機関としての議会が、町民の生命、身体及び財産を保護し、町民の安心・安全を確保するために議会の機能維持を図ることを目的としています。

#### 【主な内容】

- 災害時の議会及び議員の行動指針
- 業務継続計画の発動基準
- 業務継続の活動基準 など



### ◎議会選出監査委員について検討します

八頭町では2名の監査委員のうち、議会から1名の監査委員を選出しています。社会経済情勢の変化に対応した監査機能の充実強化、独立性の強化が図られるために、八頭町の監査委員制度がどうあるべきか委員会で検討していきます。

## \*\*\*\*\* 議会研修会 \*\*\*\*\*

### 「特殊詐欺の手口と被害防止対策」

- 日 に ち** 令和6年2月9日
- 場 所** 船岡庁舎
- 講 師** 郡家警察署 生活安全刑事課長  
北村 裕二 氏



特殊詐欺の発生状況は鳥取県が令和5年12月末現在3億3,386万円と過去最高の被害額でした。郡家警察署管内でも還付金、架空請求詐欺が発生しています。インターネットバンキングだと限度額が大きく被害が大きいので、防犯対策として町内のコンビニ店に協力してもらっています。スーパーでの防犯広報活動などしていると説明がありました。

今回の研修を通じて、具体的な詐欺の方法などを知ることで、被害にあわないための行動が理解できました。犯罪のない町にしていくためにも、防犯の啓発活動により力を入れていく必要があります。議会としてできることを取り組んでいきます。

## 能登半島地震の義援金寄附

令和6年元旦に発生した能登半島地震の義援金を八頭町議員に募り、鳥取県赤十字奉仕団を通じて送りました。被害にあわれた方にお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を願います。





7月から12月にかけて町内の団体等を対象に15会場で開催しました。各会場でもいただいた、ご意見・要望をまとめ、町からの回答を抜粋して報告します。



## 教育



■ スクールバス待機所の再度見直し。待合施設の点検、屋根の設置など安全性の向上を図って欲しい。(八東小・教育の会)

● 既存のバス停のことは集落要望していただきたい。新設は土地所有が個人所有であり設備整備は困難です。

■ 出て行って戻ってくる子供を増やすような教育科目が欲しい。(八東小・教育の会)

● ふるさとキャリア教育や活躍されている人の話を聞くようにしています。家庭でも本町の良さ(住みやすさ)について話していただきたい。

あるこ  
小規模  
できな



## 文化財保護



■ 合併20年を目指して「八頭町史」の編纂をしては。(文化財保護審議会)

● 編纂には数年かかる。節目を20年とするか、有識者の意見を踏まえて議論を尽くす必要があります。

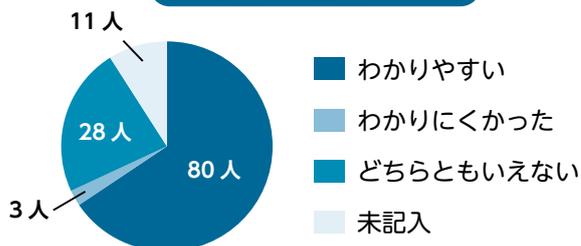
■ 文化財に対する意識を高め、看板設置も含め取り組んで欲しい。(文化財保護審議会)

● 看板等が未整備なものは順次整備していく予定です。広報等を通じて機運の醸成を図ります。

作成は

奉仕団)

### 報告会の内容は？



令和5年度

議会報告会・意見交換会

# みなさまの声



## 医療



- 今後の医療体制が心配だ。(船岡まちづくり委員会)
- 隼Lab.、メニューダ等を活用して医療体制を考えないか。(船岡赤十字奉仕団)

● 鳥取県でも医療確保の協議が行われています。今後も住民医療が現状維持できるよう、町を含む東部圏域での医療体制のあり方を検討し、町としてできることに取り組みます。

## 買い物



- 自分でみて、選んで買い物できる施設を小規模で造って欲しい。(船岡まちづくり委員会)

● 船岡地域の買い物環境は、近隣にスーパーが多くとから旧トスクふなおか店の事業が引き継がれず、の施設運営を地元の団体をお願いしたが、実現かった経緯もあり理解していただきたい。

## 公共交通



- 100円バスを自分の集落に走らせて欲しい。(身体障害者福祉協会)

● 将来的には周辺地域や他の集落との連携も含めた総合的な公共交通機関整備の視点から、地域全体の利便性向上を検討する必要があると考えています。

- 障害者手帳を持っていても障害の種類によって適用されない場合があるが。(身体障害者福祉協会)

● 令和6年度に助成制度を新設しました。

## 生活・環境



- 特大サイズのごみ袋が作成できないか。(連合婦人会)

● 現在の収集車の投入口が積込みが困難となるためできません。

- 竹林公園の遊具を充実させて欲しい。(船岡赤十字)

● ご意見を指定管理者と協議します。

要望等はすべて回答をいただいています。ここに掲載できない事項は八頭町議会ホームページに掲載していますので、ご確認ください。令和6年度も議会報告会意見交換会を開催する予定ですので、ご参加ください。

## アンケート結果

アンケート提出者 …………… 122人

### 報告会の内容は？

わかりやすい …………… 80人

わかりにくかった …………… 3人

どちらともいえない …………… 28人

未記入 …………… 11人



## していませんか！議会の傍聴を

「議員って普段何をしているの？」そのような問いかけをいただくことが多いです。皆さんに議会のことをもっと知っていただくために、このシリーズでは議会の仕組みや内容を分かりやすくお伝えしていこうと思います。3回目の今回は、「議会の討論」についてです。

議会における「**討論**」はお互いに議論を交わし合うことではなく、**賛否の理由を述べることにより自分の意見に説得力を持たせる**機会です。

- ①意見の異なる他の議員を自己の意見に同調させるようにする。
- ②議員として自分の意見や考えを表明すること。



討論は「**議案**」や「**予算**」などの重要な決定に対して行われます。

### 討論の順番

原則としては、議題に対して反対する者から、自分の立場を明確にして（賛成か反対か）意見を述べ合います。

※反対意見が出ていないのに賛成意見だけを述べるのは、なじみません。

### 一人一回の原則

討論は、原則として同一議題に対して1回限り許されるもの。

途中で意見が変わったり、違った観点からの意見であっても複数回の発言は許可されません。



## 本会議の様子はYouTubeでもご覧いただけます！

◆ YouTubeで「八頭町議会チャンネル」と検索いただくか「八頭町議会ホームページ」で「**新着情報**」から「**録画放送を掲載しました**」をクリックして下さい。



左のQRコードから「本会議」がご視聴いただけます。



# 議会モニター会議



**日にち** 令和6年2月22日  
**場所** 八頭町議会  
**モニター** 5人 **議員** 7人



## 議会の取り組み

項目	モニター	議会
DX推進	ペーパーレス化の目標は怎么样了か。	今後の状況を見ながら作成します。
	経費削減について具体的な指標はありますか。	
業務継続計画(BCP)	議会としても当然にあるべきものだと思いますか。	町の防災計画、八頭町BCP計画との整合性を調査し完成させ、4月に施行する予定です。
議会傍聴	一般質問で、重なった質問があるが調整はしないのですか。	一般質問に関する運用基準で検討していきます。

※たくさんのご意見をいただきました。議会活動へと反映していきます。

### ここが聞きたい

## 一般質問

12人が  
一般質問  
しました。



QRコードを読み込むと、YouTube動画でご視聴いただけます

質問者	質問事項	頁
岡嶋 正広	本町の災害復旧事業の進捗状況	16
	本町の防災体制	
川西美恵子	八頭町の災害対策	17
	敬老会の在り方	
奥田のぶよ	郡家駅前自転車置き場	18
	食品営業許可制度	
矢部 啓祐	若者の力を活かした地域活力向上の施策	19
小原 徹也	行政運営に関すること	20
灘口 茂郎	スマート農業の推進	21
	デジタル地域通貨	
中村 美鈴	防災対策	22
前田 幸己	森林整備の推進	23
川西 聡	八頭高等学校の砂塵対策	24
	バリアフリー対策	
山根張太郎	高齢者や子供たちに優しいまちづくり	25
森 亜紀子	地域防災計画	26
	あいサポート運動等の取組	
栄田 秀之	マイナンバーカード保険証	27
	ひきこもりの方の支援	

### 一般質問とは



議員が行政全般にわたり、町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問したり、報告、説明を求めたりすることをいいます。  
 議員1人あたりの質問時間は30分です(執行部側の答弁は時間に含まれません。)  
 掲載している内容は、質問者自身が要約し、広報委員会が校正したものです。議事録は、議会ホームページのほか、議会事務局、各庁舎、図書館でもご覧いただけます。

## 台風7号災害

### 復旧事業の進捗は

町長／13億円のうち  
3億900万円余り発注済



岡嶋 正広 議員

#### 質問

昨年8月の台風7号により本町では甚大な被害が発生した。その後の復旧事業の進捗状況は。

#### 答弁

吉田町長

災害発生時から被害の調査を行ない測量設計を並行しながら10月23日から12月22日にかけて、国の補助事業として採択する為の災害査定を受けている。

公共土木施設、農地・農業用施設、林道施設合わせて70か所で決定額10億400万円という査定結果であった。復旧事業費は測量設計費を含め13億円余りを見込んでいます。

1月30日から令和6年の耕作に関わる箇所を優先して工事発注している。2月29日現在30か所、26工事、請負額3億900万円余り発注済。

国の補助事業の対象とならないものは補助金として50件、1400万円余りの交付を決定した。



復旧が急がれる流出した農地（福地地内）

#### 質問

物件が近いところをまとめて発注することは考えられないか。

#### 答弁

年岡課長

まとめての発注は合理的であり、まとめて発注している。

## 防災体制

### 屋外避難場所の整備は

町長／広場についても  
備品等の対応が必要

#### 質問

①本町では屋外避難場所は18か所です。ほぼ何も整備されていない広場だ。避難場所としての整備が必要ではないか。

②防災備蓄庫の設置状況と、備蓄庫の管理方法は。

③避難訓練の場で各集落毎に初期行動におけるワークショップ型研修会の開催についての見解は。

④防災マップの説明会を各集落毎に行うべきでは。

⑤福祉施設の避難訓練実施計画の策定と福祉避難所の計画策定についての支援・指導の考えは。

⑥町内の避難所は62か所、そのうちわずか3か所の福祉避難所。要配慮者数に合った避難所数か。

⑦学校・保育所ではどのような訓練を行っているのか。

#### 答弁

吉田町長

①広場についても備品等の対応が必要と思う。防災室の職員と話をさせ

てもらいたい。

②郡家・船岡・八東地域に整備。他の施設にも保管。保存食は郡家地域の備蓄庫で空調整備を行ない一括管理している。

③令和6年度は防災訓練後に集落役員に残ってもらいワークショップ型の研修の場を設ける予定だ。

④各集落で学習会を開催し併せて防災マップの説明をしている。今後もたくさんさんの集落に学習会の開催を周知したい。

⑤町内には19施設あり、すべての施設で計画を策定済みだ。

⑥関連施設の皆さんと協定し対応をお願いしたい。

⑦保育所では毎年1回訓練を行ない、そのうち年2回消防法に基づく訓練を行っている。

#### 答弁

藪田教育長

⑦学校では義務付けられた計画に基づき年間3回の訓練を実施している。

## 大規模災害対策

# 備蓄品に女性の視点が 欠落していないか

## 町長／妊産婦用品等を 今後整備していく



川西 美恵子 議員

### 質問

- ①能登半島地震のような震度7以上の地震災害を想定して現在の地域防災計画を見直す必要があるのではないか。
- ②耐震シエルトの整備は。
- ③集落単位で飲料水、食料、仮設トイレの備蓄は。
- ④防災井戸の整備は。
- ⑤仮設住宅設置の想定場所は。
- ⑥妊産婦や乳幼児の備蓄が進んでいないことや避難所運営において女性の視点が欠落していないか。これらの課題に対する対応は。

### 答弁

吉田町長

- ①鳥取県の地域防災計画に合わせて本町でも見直しを図っていく。
- ②住宅の耐震改修や、耐震シエルトの整備が必要と考える。
- ③一時避難用として集落単位で飲料水、食料、仮設トイレの備蓄が



充実が期待される備蓄品

必要と考える。

- ④防災井戸については、国中保育所に一か所整備されている。
- ⑤仮設住宅の場所は船岡のトレセソ周辺を想定している。
- ⑥妊産婦用の衣類、乳幼児用の飲料等が未整備なので、今後整備していく。避難所の運営は、男女の職員を配置するよう計画し、女性が相談しやすい体制を取る。

## 敬老祝賀

# 喜寿、傘寿、米寿、卒寿に 敬老を祝っては

## 町長／傘寿の方にもお祝いをしたい

### 質問

- 本町では、令和2年度までは75歳以上の高齢者が集まって各地域で敬老会を実施していた。新型コロナウイルス対策により、令和3年度からは参集型の敬老会は中止され、75歳以上の高齢者に商品券を配付する方式に変更された。さらに、令和5年度からは、75歳になられた方と88歳になられた方のみに、商品券を配付する方法に変更されている。
- 高齢者の方から、せめて喜寿77歳、傘寿80歳、米寿88歳、卒寿90歳に敬老を祝う商品券として配付をできないものかと御意見をいただいた。敬老の祝賀の在り方について、町長の見解は。

### 答弁

吉田町長

- 合併以来、各地域で開催した敬老会は、令和3年度から新型コロナウイルス感染症の感染対策により、集合同催を中止している。
- 商品券の配付については、複数回



以前の敬老会

の配付を望む声があるので、令和6年度は80歳、傘寿になられる方を加えてお祝いさせてもらう。その他の年齢については、今後も検討する。

※その他の質問

八頭町総合計画の策定  
乳幼児の予防接種

## 自転車置場

### 2階建てにして 喫茶店を誘致しては

町長／検討委員会の  
報告後の対応となる



奥田 のぶよ 議員

#### 質問

郡家駅前自転車置場を有効活用すべきと考えるが。  
①建物を2階建てにして、2階に喫茶店を誘致してはどうか。  
②バイクを自転車置場に駐車できるようにしてはどうか。  
③観光看板を移動してはどうか。

#### 答弁

吉田町長  
①駅前活性化検討委員会の報告を受けてからの対応となる。  
②接触事故など危ない場面も懸念される。現行のままの使用が望ましい。  
③現在の場所でのよいと考える。

#### 質問

自転車置場の現在の利用状況について調査はしているのか。

#### 答弁

吉田町長  
①利用者は減っているが、調査はしていない。



郡家駅前自転車置場

#### 質問

観光看板は10年経つ。今のものを整理し検討できないか。

#### 答弁

吉田町長  
看板の中身は検討したい。

## 食品衛生

### 農家の方々への手立てを考えては

町長／相談に来てもらいたい

#### 質問

令和3年に食品衛生法の一部改正があり、自宅で加工した漬物を販売する際に営業許可取得が必要となる。令和6年5月31日が経過措置の期限となり、各自治体で様々な措置がとられているが対応は。  
①本町の相談窓口は。  
②町内の加工施設等、個人で借りることができている状況は。  
③個人が加工施設を設ける場合の補助制度等は。

#### 答弁

吉田町長  
①営業許可を受けるには鳥取県が定める基準を満たす必要がある。重要な判断を求められるため、鳥取市保健所を紹介している。  
②みそ製造販売で使用している下私都農産物加工施設があるが、協議調整が必要だ。  
③町の助成は「出る杭を伸ばす」事業者応援補助金が農業等の事業主でなければ対象になる。

#### 質問

漬物、梅干しを作りたいなどの場合の6次産業化の町の窓口は。

#### 答弁

吉田町長  
産業観光課だ。営業許可の最終的なものは鳥取市保健所になる。

#### 質問

本町は6次産業化を大事にしてきた。また、食育計画でも「じげの味」を大事にしようとする。今回の改正で加工施設の水道はレバー式にとか、自宅の台所は使用できず別の作業場があるなどある。  
直売所の漬物が消えないよう農家の方々への手立てを考えては。

#### 答弁

吉田町長  
継続的に直売所に出されていた方が今一番困っていると思う。相談に来てもらいたい対象になる事業があれば活用して欲しい。

※その他の質問

ごみ収集

## 若者の活力

### 若者の発想に託すような 取組をしては

町長／若者が地元を元気にすると

地域が元気になる



矢部 啓祐 議員

#### 質問

少子高齢化が進む本町で次世代にどのような町を繋いでいくかは大きな課題の一つである。他の自治体では若者が主体性を持ち、それを他の世代が応援することで地域の活力向上の循環の輪を広げている事例がある。地域において主体性と協働性を伸ばし合うことが今後の本町に大切ではないか。

①若者世代の活躍にどのような焦点を当てていくのか。

②若者の活躍の場を今後どのように提供していくかと考えるのか。

③八頭中学生で構成される「ブルーバード」という組織がある。昨年4月時点で参加者は8人だったが、現在21人が活動し、飛躍を遂げている。小中学生の活躍を今後どのように後押しをしていく方針か。

#### 答弁

吉田町長

本町では「あーとふる八頭」の

一室で活動している全国の大学生で構成されるフロンティアスクールが「とっとり未来ラボ」で地域課題の解決に向けた中高生の活動を手助けしている。地域の方との交流を通じて積極性や主体性が大きく伸びたと聞いている。

①若者の活躍を町民の皆様に広く発信し、多くの方に知ってもらふことだと考える。

②地域の伝統行事や文化を新たな形で発信するイベントなど、高齢化で継承が困難な伝統行事の継承に一役買ってくれるのではと期待している。

#### 答弁

藪田教育長

③ブルーバードは、例年地域の祭りに出店したり、地域のごみ拾い等を行っていた。今年度は、フロンティアスクールの大学生に伴走支援してもらい中学生自身何が出来るか考えながら活動をした。「あーとふる八頭」の1周年イベ

ントではアイデアを出し合いお化け屋敷を実施するなど楽しみながら取り組めた事で活動が活発になり、メンバーの増加に繋がったと考えている。

#### 質問

地域のイベントを中高生がアイデアを出し、大人がフォローしながら一緒に企画・運営をし、来場者が増え、活性化した事例がある。そうした経験をした学生達が次の中高生の世代を応援したいと地元に戻ってくる機会が増え、Uターンのきっかけにもなる。こうした取組を実施してみては。

#### 答弁

吉田町長

若者が地域と関わることは非常に良いことだ。地域のイベントでは実行委員会形式のものもあるのが可能ではないか。

#### 質問

富山県では地元の高校生に事業費を託し、若者の自由な発想に託してイベントを企画・運営している。地元の若者の新しい発想に託すような取組をしてみては。

#### 答弁

吉田町長

本町では安部小プロジェクトの

活動を支援しているもので、そこを起点に考えたい。若者が地元を元気にしてくれると本当に地域は元気になっていく。

#### 質問

八頭町で何かチャレンジしてみたいという意欲を高めた10代が生まれている。本町の大きな財産だ。今こうした流れが上手くきているので、サポートを継続してもらいたい。

#### 答弁

藪田教育長

小学校で特別活動に力を入れており、そこで育ち中学生の「ブルーバード」等の活動に形になってきている。地域を想う子ども達をこれからも支援していきたい。



ブルーバードとフロンティアスクールの活動風景

## 自治体DX

### メリットとデメリットは

町長／住民サービスの向上と  
業務効率がメリットだ



小原 徹也 議員

くということとは非常に大事であり、そういった面では、ペーパーレス化には一長一短がある。

④DXの推進が直ちに正職員の減少につながるということではないと捉えている。

また、正職員の人数が減少することで、会計年度任用職員の待遇を上げるといふ認識にはつながらない。

### 質問

①この自治体DXは国の政策で、本町は施策を行うものと考えてるが具体的に大きなメリットとデメリットは。

②昔から日本の行政は広報を紙で配布されている。近年騒がれているペーパーレスだが、人に知らせる手段は紙で配る方法が一般的であり、調べる手段はインターネットで検索できるが、多数の人に知らせるのに紙だと考える。町長の認識は。

③日本には日本の文化がある。今の社会は、情報が垂れ流しであふれている状況で、情報を知る手段は携帯電話等になっている。読む選択肢は増えていくが、書くということが置き去りになっていないか。日本の教育は「読み書きそろばん」と教えられてきた。この点について、本町が行うペーパーレスをどう進めるのか。

④本町の職員は550人だ。財政は余裕がない中でやりくりしていると聞く。正規職員は195人、会計年度任用職員は355人。現場で働く多くの職員は非正規の方と捉えられる。待遇面では、同年齢で比較して差が大きい。

「自治体DX」で仕事の効率化が進めば、正規職員は減り、非正規で働く方の待遇も上がるのか。

### 答弁

吉田町長

①住民に対するサービスの利便性の向上や、業務の効率化のメリットがある。DXにデメリットはないと思っている。

②紙ベースで各区長さんを通じて全戸に配布している。同時に町ホームページで提供している。

③役場内部ではプリンターを減らすことで用紙、トナー、リース代、メンテナンス費を抑える。

デメリットは、自分で文字を書



八頭町本庁舎

## スマート農業

### スマート農業教育の推進を

町長／農業版 i c d の活用  
教育長／ふるさとキャリア教育



灘口 茂郎 議員

**質問** 担い手育成のためのスマート農業教育の推進に取り組んでみては。

**答弁** 吉田町長

農業の業務を明確化して効率的に行うことができる人材を育成するための手法として、スマート農業を活用した「農業版 i c d」を導入することが考えられる。

例を作ることが、スマート農業の推進につながるのではないかと考えるが。

**答弁** 吉田町長

多くの皆さん方に関心をぜひ持つていただきたい。費用対効果が見込めるツールなので、町としても推進していく。

**質問** 産・学・官の連携の強化により、実証実験などに取り組んでいただき、地域振興につなげてもらいたい。また、取組を通じて、成功事

**質問**

産・学・官の連携の強化により、



作業の負担が軽減されるスマート農機

## デジタル地域通貨

### 本町独自のキャッシュレスシステムの導入を

町長／検討、調査を進めていきたい

**質問**

令和5年第9回定例会で、本町独自のキャッシュレスシステムの導入を提案し、町長は「商工会との懇談会で話が出れば、無条件、行政としても支援する」と答弁されたが、現状と今後の取組は。

**答弁** 吉田町長

令和6年度の当初予算に、キャッシュレス検討調査事業を計上しているので、商工会と協議しながら、検討、調査を進めていきたい。

**質問**

本町で慣れ親しまれている「かえるカード」のような機能を持たせて、地域内経済循環、地域振興につながるようなものにしてもらいたいと考えるが。

**答弁** 吉田町長

いかに地域内経済循環につなげていくかということが課題だ。そして、

皆さん方が使いやすいということも非常に大事だ。そういったことで地域コミュニティの活性化につながればと思う。

商工会とよく話をして、どういったものが本町にふさわしいのかというのを考え、商工会、最終的には皆さん方にも、こういった形で進めたいというような話をしたいと思うので、少し時間をもらいたい。



本町で慣れ親しまれる「かえるカード」

## 防災対策

### 補助制度の周知を

#### 町長／町報、ホームページ等で補助利用の周知をする



中村 美鈴 議員

見守り支援等を行っている。これらの対応は、内閣府のガイドラインに基づき、支援チームと連携、心のケア対策に努めていきたい。

島地震でも家屋が倒れて火災が多数あった。本町でも家具の転倒防止対策や、感震ブレイカーを設置する様な公費助成はできないか。

#### 質問

地震大国の日本列島、近年大災害が起き、能登半島地震では、早急な復旧・復興が求められる。

①本町の地震対策への考えと公共施設や家屋等の耐震化率向上は。

②防災会議で女性委員割合の現状と、内閣府の目標値の取組は。

③避難所運営の考えと現状は。避難所の環境整備への備蓄品等、「T・K・B」の見解は。

④被災者への心のケア対策は。

で補助制度の周知をしたい。

②昨年開催の八頭町防災会議で、女性委員の割合は30・4%。内閣府の目標値の30%を超えた。

③対策本部で避難所対応職員と場所を決定し、開設用物品を職員が持参し避難所へ向かい、運営を行っている。

運営職員には、極力女性職員を入れ、女性避難者の方の相談が受けられる体制で、必要物品等避難された方が安心して過ごせる様対応する。「T・K・B」のトイレ、衛生関係キッチン、ベッド、睡眠の関係物品を整備。非常食、保存水はローリングストックで食品ロスにならない様備蓄している。

④能登半島地震の支援をした保健師の活動報告では、避難所や各家庭を訪問し、質問票等を用いて被災者の心と体の状態を確認している。医師等で構成する「こころのケア専門支援チーム」と情報共有し、医療の要否の見立てや傾聴、

#### 質問

正月に起きた能登半島地震では、家屋の耐震化が生死を分けたといわれていた。本町の耐震化率は県内で14位と新聞に出ていた。

本町の地域防災計画の中で「耐震化の必要性と補助制度の周知が不十分であり、学習会や説明会の開催が耐震化を進める有効な手段と分かった」と出ていた。3月の広報やずに出ていたが、補助制度とはどういうものか。

#### 答弁

吉田町長

今回の地震で、耐震助成の事がクローズアップされ、周知不足は否めないが、定期的に広報等でお知らせしている。昨年は13件の耐震関係の助成活用があった。なかなか改修工事までは至っていない。令和4年は、14件診断等があった。

#### 質問

東日本大震災が13年目になる。火災の発生要因の5割が、電気関係の出力といわれている。能登半

#### 答弁

吉田町長

地震への備えと発生時の行動、建物の耐震化が重要だ。集落や関係機関で防災学習会を行い、防災マップに記載があり確認いただきたい。令和4年3月「八頭町耐震改修促進計画」を改定した。令和2年度の住宅耐震化率は約66%、町有施設は約88%だ。住宅の耐震化は、診断・改修を含む耐震関係補助を設け町報、ホームページ等



台風7号で被害があった私都の河川や田

## 森林整備

### 森林整備の推進は

### 町長／森林環境保全税の 有効活用



前田 幸己 議員

#### 質問

本町では森林環境譲与税を活用し森林調査事業に関係機関と連携し取り組まれている。町内には8千ヘクタールの人工林が植栽されている。その森林が世代交代、木材価格の低迷により所有者の関心が低くなっている。森林は木材生産機能だけでなく環境保全機能もある。町内の森林の樹齢は大半60～70年に達している。利用可能な森林が大半である。この森林を管理するためには

- 零細分散している森林の集約
  - 作業道の開設
  - 森林管理の担い手の育成
  - 地域材の積極利用等
- が必要と考える。
- 町長にこれらの取組の所見を伺う。
- ① 森林環境譲与税の実績と今後の見込みは。
  - ② 今まで森林環境譲与税で取り組まれた事業は。

- ③ 零細な森林の集約対策は。
- ④ 地域材の活用支援策は。

#### 答弁

吉田町長

① 令和元年度から段階的に譲与され5年間で1億4千万円譲与され5年間で事業執行額は1億1千万円で執行率は80%だ。未執行の3千万円は後年の森林整備基金として積み立てている。

なお、令和6年度より4,880万円の森林環境譲与税の譲与を予定している。

② 森林整備の取組としては、森林座談会を開催し森林経営管理制度の推進、森林所有者の意向調査の実施、森林情報の解析、林地台帳の整備を実施すると共に危険木の伐採助成、木材搬出作業道の修繕等の各事業を実施した。

また、木材利用促進関係では、公共施設の木造化の推進、木のおもちゃの贈呈等を実施している。意向調査によれば所有者の8割

の方が町に作業委託の希望がある。

③ 八頭町の森林の筆数は、2万5千筆あるが大半が1ヘクタール未満である。森林整備を経済的効率に進めていく上には森林の集約は不可欠であり、森林所有者の合意形成が必要である。森林の集約に取り組む森林組合をはじめとする事業者の取組を支援する。

森林整備に関する補助対象面積が3反以上から1反以上に緩和されたが、相続登記ができていない森林、また、共同所有の共有林の問題もある。

零細な森林の集約は重要な問題として承知しており、その新しいシステムについて事業者の方々と協議する。

④ 地域材の推進については、制定している「八頭町森林林業ビジョン」の三本の柱の一つとして「森林の恵みを活かす」と定めている。

町産材の活用として木育事業の推進を目指し誕生祝品の木のおもちゃ、「はたちのつどい」においては木製ボールペンを贈呈している。

また、令和6年度より新規事業として「八頭町産材利用促進事業」を創設し、八頭町産の木材を使用した住宅建設に対し部材購入費を

助成する。この事業は鳥取県で実施されている県産材利用促進事業の助成に上乘せするものである。

※その他の質問  
大災害の備え



船岡殿山林



山上貯木場

## 砂塵の解決対策

### 八頭高等学校への 要請の進捗状況は

町長／状況は変わりないが  
要望は改めて話をする



川西 聡 議員

#### 質問

以前の定例会で、「八頭高等学校 サッカー場から舞い上がる砂塵が周辺集落の住宅に吹き付けて、環境の悪化が生じている。根本的な解決策の実施を県に要請するべきでは」と一般質問したことに対して町長は「高校の対応を見ながら県に要請する」と答弁した。要請の進捗状況はどうか。

#### 答弁

吉田町長  
スプリンクラー1台の導入以外に状況は変化なしだ。芝生化改修の予算も実現に至っていない。要望は改めて学校と話をする。

#### 質問

砂塵が長期にわたる場合は、健康に影響を生じると思うが。

#### 答弁

吉田町長  
健康の障害に繋がると思う。この大問題は学校側もしっかりと把

握していると思う。健康面や洗濯物が干せない、住宅の壁の変色等、様々な状況も伝えたい。

#### 質問

町長は以前の定例会で、「根本的な対策は芝生化だ」と答弁している。芝生化の検討は再度言われるのか。

#### 答弁

吉田町長  
話の中で出てくると思う。



砂塵が飛ぶ八頭高校サッカーグラウンド

## バリアフリー対策

### 船岡庁舎に エレベーターの設置を

町長／今後の庁舎機能と併せて  
施設整備を検討する

#### 質問

船岡庁舎のエレベーター設置に関しては、平成元年12月定例会の一般質問で同僚の議員が取り上げた。町長は答弁で「現状は難しい」として難色を示した。同僚議員の主な視点は、高齢者や障がい者の分け隔てない議会傍聴だった。

地方議会を見れば、車椅子の支援が必要な方が当選して、バリアフリー化した議場で研鑽を積み、住民の声を届けて活躍している。

本町でも車椅子の支援が必要の方が議員になった際にエレベーターが必要になる。

- ①エレベーター設置検討の進捗状況を問う。
- ②3庁舎の各所におけるスロープや手摺りの設置状況、将来の計画等を問う。

#### 答弁

吉田町長  
①現在も同様に現状での設置は難しいと考える。今年度から、3庁

舎の機能はどうあるべきかをエレベーター等の施設整備を含めて全体的に検討する。

- ②3庁舎ともスロープは玄関前に、手摺りはスロープと庁舎内の階段に設置してある。将来の計画は庁舎機能のあり方を検討する中で考えたい。

#### 質問

船岡庁舎が出来たのは平成元年10月で、耐用年数が50年として後10年以上残っており、耐用年数は延びる確率が高い。エレベーターの設置は立派な「合理的配慮」ではないのか。

#### 答弁

吉田町長  
議会棟と本庁舎が一つになっていないのは県下で本町だけだ。3庁舎の在り方の中で検討したい。

#### ※その他の質問

住宅リフォーム制度の見直し  
住民の諸要求

## 住民に優しいまちづくり

### 高齢者の願いの やずバスを

#### 町長／環境整備に努力する



山根張太郎 議員

#### 質問

国道29号線以南の堀越から門尾、下門尾、フローラル、加茂町、福本、郡家北区からJR郡家駅を経て国道29号線を経て堀越に向かう循環ルートを新設しては。

#### 答弁

吉田町長

私都線と大江線を鳥取自動車に委託し、直営で、大御門国中線などの5路線をハイエース3台で運行している。また、スクールバス運転を委託、本業のタクシーの運行もあり現状では、運転士の確保が困難な状況、バス路線の新設は、すぐには難しいと考えるが、今後、総合的な高齢者の移動手段としてはバスに限定しないで考える必要がある。

#### 質問

やずバスの新ルートの実証実験、及び今年度予定していた自動運転バスの実証実験の現状は。

#### 答弁

吉田町長

既存のルートを運行しながらの運行であり新たなバス運転手の確保が必要となり、現状では難しいと考える。バス路線については、公共施設の再配置等に併い随時見直しを行っている。

また、自動運転バスの実証実験については、現ボードリー社と連携協定を締結して町内で実証実験を行った経過もある。その後、技術開発も進んでいると思うが、雪や踏切などの課題があり降雪量の多い本町では、ハードルが高いと感じるが現在もボードリー社とは情報交換、共有している。チャンスがあれば、新たな取組を行いたいと考えている。

#### 質問

JR郡家駅は本町の玄関口だが、早朝や夕方7時以降はタクシー営業をしていないので利用できない。昼間の時間帯でも長時間

待ちや予約できない現状だ。JR郡家駅の始発から最終便迄の営業体制確保の対策は出来ないか。

#### 答弁

吉田町長

現在、郡家営業所のタクシーは午前7時30分から午後7時までの営業時間を8台のタクシーと12人の運転手で町営のやずバス、スクールバスを含めた中でシフトを組み対応している現状であり、ドライバーが毎年1割程度減少し続けコロナ禍で3割減少、ドライバー不足は深刻な状況となっている。

タクシー事業者に改めて営業時間について相談したが、ドライバー不足から対応が難しいとの回答であり、現状では困難と考える。

#### 質問

高齢者の生きがいとも言える手に取っての買い物や、友人知人との食事など希望の時間帯に配車ができず時間待ちや予約が取りづらい。今、車両がないからと30〜40分待ちが常態化している。

やずバスが通れば即解決できると思うが、JRの南側の各集落も20〜30年も経過したら高齢者問題が課題となる事が予測されるが自動運転バスの導入は。

#### 答弁

吉田町長

地域ごとにそれぞれの課題があり、そこだけに限った問題ではないと思っている。買い物も医療機関の関係も、公共交通の課題も、もう少し時間をいただきたいと思う。



やずバス

## 地域防災計画

### 防災学習会は

町長／機会があれば  
専門家を招きたい



森 亜紀子 議員

#### 質問

元旦に発生した能登半島地震は多くの方が被災された。災害に対する備えや意識が大切になる。八頭町地域防災計画を問う。

①防災講演会や防災教室などの開催状況は。  
②女性委員の有無及び視点は活かされているか。

#### 答弁

吉田町長

①令和5年度の防災学習会はまちづくり委員会等を含め13の会場で開催。コロナの状況で若干減少している。

今後は、各集落で開催されるよう周知する。機会があれば専門の講師を招き防災学習会を開催できればと考えている。

女性委員の割合は、30・4%だ。防災計画の中には女性の視点が大切に避難所運営についても同様と考えている。

#### 質問

専門家の講演は可能か。

#### 答弁

吉田町長

消防署の方や、前もって話をすれば自衛隊の方も可能だと思う。

#### 質問

防災マップを使い家庭学習は。

#### 答弁

吉田町長

マップの一番最後のところを家でチェックしてほしい。



防災教室でカレー作り

## あいサポート運動

### 本町の 手話言語条例の 制定は

町長／機運の醸成と合致すれば  
制定しやすい

#### 質問

令和6年4月から県は「あいサポート運動」をさらに強化していく方針と報道された。本町の取組を問う。

①あいサポートにおける本町独自の取組は。  
②手話の普及啓発は。  
③学校教育の手話の学びは。

#### 答弁

吉田町長

①本町の役場は平成26年3月にあいサポート団体として認定を受けている。また社協とタイアップして養成研修を実施し、登録者数は377人。障がいの理解を促進するイベントを共催している。

②様々なイベントでは手話を知り、触れる機会となった。県東部で手話奉仕員養成研修を実施。登録者数は47人だ。

#### 答弁

藪田教育長

③小学校、中学校で総合の時間を

使い手話に触れる、学ぶ学習をしている。

#### 質問

本町において「手話言語条例」を制定することは。

#### 答弁

吉田町長

機運の醸成と合致すれば制定はしやすい。

※その他の質問  
DXの推進



にじいろフェスタ  
(八東体育文化センター)

## マイナ保険証

マイナンバーカードへの  
保険証移行は  
町長／今年の12月2日から  
移行する



柴田 秀之 議員

### 質問

令和5年6月にマイナンバーカードと保険証の一体化などを盛り込んだ改正ナンバー法が成立し、今年の秋以降は健康保険証が廃止の予定となっている。

- ① マイナンバーカードの推進、普及状況は。
- ② マイナ保険証を保有していない人への対応は。
- ③ マイナ保険証利用で、今までの保険証はどうなるのか。

### 答弁

吉田町長

- ① 交付率は80%、申請率は82%であり、引き続き取得の推進をする。
- ② 健康保険証廃止後、最長1年間是有効の経過措置が設けられている。保険証廃止後は、代わりとなる資格確認書を発行する。
- ③ 引き続き有効期限までは保有してもらいたい。

### 質問

マイナ保険証の使用方法、情報提供について、町民に分かりやすく伝えるべきと思うが。

### 答弁

吉田町長

ホームページや広報やずに特集を組んで情報提供を行う。



マイナ保険証に12月2日から移行

## ひきこもり相談窓口

ひきこもり支援体制の整備を  
町長／親身になって相談を受ける

### 質問

内閣府の調査結果によると15歳から64歳でひきこもり状態にある人は、全国で146万人、50人に1人が該当することになる。何等かの社会情勢や社会的要因からひきこもりは誰もがいつからでもなりうる状態であり、自分や家族とも無関係でないことが改めてデータで示された。

- ① ひきこもり支援対象者の実態やニーズの把握について学び、ひきこもりは長く本人の甘え、親の甘やかしという偏見にさらされてきたと聞いた。ひきこもりの偏見への所見は。
- ② 重層的支援体制は。
- ③ 相談支援のあり方は。

### 答弁

吉田町長

- ① 一人ひとりの背景を把握し、本人や家族に寄り添う支援、正しい理解、人間関係の再構築が重要だ。
- ② 福祉課を中心に保険課や町民課などと協議していく体制整備を進めている。
- ③ 相談したくても出来ない人へ

は、アウトリーチ等継続的な伴走支援を実施する。

### 質問

重層的支援体制の整備は、属性、世代を問わない相談を受け止めることにあり、このことがひきこもり状態の方の受け入れに必要だが。

### 答弁

吉田町長

重層的支援体制の整備は、相談、参加、地域づくりが基になっている。今年度から実施としている。

### 質問

町民の方に、ひきこもりについて、理解を深め、温かく見守る対策を行うことは。

### 答弁

吉田町長

寄り添い、サポートして1日も早い社会復帰できる体制を整えたいと思う。

※その他の質問  
図書館のあり方

## 議会モニターさんの声



### 垣本 雅史さん 「一度見に行って欲しい町議会」

「議会モニター」に参加してからは、以前よりも議会の傍聴することも増えました。

町議会にはあまりいいイメージを持っていませんでしたが、実際に議会に足を運んでみると、いい方向にイメージが変わりました。議会の中での議論は適正に行われていますし、よりよい議会にしていこうとされています。八頭町議会はYouTubeでも公開されていますので、ぜひ一度見てもらいたいです。



### 木下 優子さん 「議員と会話を」

議会を初めて傍聴したのは、議会モニターをさせていただく前でしたが、何かニコニコして傍聴させていただいたのを覚えています。自ら、議会に練引きをして関心を持たないのは残念のような気がします。町民のための議会ですので一度、傍聴にトライしてみたいはいかがでしょうか。議員の皆様には、町民の集う場所にお出かけいただき、町民の声を漏らさず聞き、よりよい八頭町を目指していただきたいです。

## 議会の傍聴をしてみませんか

**本会議はケーブルテレビで生中継しています**

なお、定例会の本会議はインターネット配信もしています



TEL 0858-72-3975 FAX 0858-72-2641 (議会事務局)

八頭町議会

検索

議会、議会だよりに関する意見、ご要望をお寄せください。

## 編集後記

年明け早々に能登半島地震が発生しました。犠牲になられた方々に心からお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様にお見舞い申し上げます。

そのこともあり、今定例会では、本町の防災体制の充実を訴える議員が多くなりました。自助、共助の備えが必要なことを再認識し、議会では議会内の非常時の行動指針を策定しました。

また、今回は、医療と買物環境に関する「請願」が出され議論が展開されました。

タブレットを利用した初の定例会でしたが、内容が分かりやすく伝わるよう編集を心掛けました。今後も手に取って読んでいただける「議会だより」の作成を目指します。

(記：矢部 啓祐)

### 編集委員

委員長	緒方 陽紀
副委員長	森 亜紀子
委員	前田 幸巳
委員	矢部 啓祐
委員	灘口 茂郎
委員	川西 聡
委員	奥田のおよ